

(主治医)→(保育・教育施設) (横浜市様式) ※「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」(2019年改訂版)

保育・教育施設におけるアレルギー疾患生活管理指導表 (食物アレルギー・アナフィラキシー・気管支ぜん息)

名前 _____ 男・女 _____ 年 _____ 月 _____ 日生 (_____ 歳 _____ ヶ月)

※この生活管理指導表は、保育・教育施設の生活において特別な配慮や管理が必要となった子どもに限って、医師が作成するものです。

病型・治療		病型・治療		病型・治療		病型・治療		病型・治療	
A. 食物アレルギー病型		B. アナフィラキシー病型		C. 気管支ぜん息		D. 緊急時[に備えた処方箋]		E. 特記事項	
1. 食物アレルギーの閣与する乳児アトピー性皮膚炎 2. 即時型 3. その他 (新生兒乳児消化管アレルギー・口腔アレルギー症候群、その他の)		1. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー・その他の 2. その他 (医薬品・食品依存性運動誘発アナフィラキシー・ラテックスアレルギー、その他の)		1. 貫通性 2. ①明瞭な症状 3. ②既往歴 4. ③既往歴等検査結果陽性		1. 内服薬 (抗ヒスタミン薬、ステロイド薬) 2. アドレナリン自己注射薬 [エビペン®] 3. その他()		C. 除去食品においてより厳しい除去 が必要なもの 病型・治療のC. 潛で除去のみに〇をつける ※本欄に〇のがついた場合は、該当する食品を使用する場合があります。 ※本欄に〇のがついた場合は、該当する食品を使用しない場合があります。	
A. 給食・離乳食 1. 管理不要 2. 管理内容については、病型・治療のC. 潜及び下記G. E欄を参照)		B. アレルギー用調整粉乳 1. 不要 2. 必要 下記該当ミルクに〇、又は()内に記入 ミルキーHP・ニューMA-1・MA-mi・ペプティエット・エレメンタルフォーミュラ その他の()		C. 原因食品・除去根拠 該当する食品の番号に〇をし、かつ《 》内に除去根拠を記載 【除去根拠】 該当するものの全額を《 》内に番号を記載 ①明瞭な症状 ②既往歴 ③既往歴等検査結果陽性 1. 鶏卵 2. 牛乳・乳製品 3. 小麦 4. ソバ 5. ピーナッツ 6. 大豆 7. ゴマ 8. ナツツ類* 9. 甲殻類* 10. 軟体類* 11. 魚卵* 12. 魚類* 13. 肉類* 14. 果物類* 15. その他()		D. 食物・食材を扱う活動 1. 管理不要 2. 原因食材を教材とする活動の制限() 3. 調理活動時の制限() 4. その他()		C. 保育所での生活上の留意点 記載日 年 月 日 医師名 医療機関名 電話	
A. 症状のコントロール状態 1. 良好 2. 比較的良好 3. 不良		B. 長期管理薬 (短期追加治療薬を含む) 1. ステロイド吸入薬 2. ロイコトリエン受容体拮抗薬 3. DSCG吸入薬 4. ベータ刺激薬(内服・貼付薬) 5. その他()		C. 急性増悪(発作)時の対応 (自由記載)		D. 特記事項 (その他の特別な配慮や管理が必要な事項がある場合には、医師が保護者と相談のうえ決定)		E. 特記事項 (その他の特別な配慮や管理が必要な事項がある場合には、医師が保護者と相談のうえ決定)	

● 保育・教育施設における日常の取り組み及び緊急時の対応に活用するため、本表に記載された内容を保育・教育施設の職員及び消防機関・医療機関等と共有することに同意しますか。
同意する 同意しない

保護者氏名